

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

内部質保証推進会議
(責任者名) 羽田 功 (役職名) 学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等																																																																																																																								
学内からの視点	<p>横浜商科大学データサイエンス教育プログラムは全学科において、「情報リテラシー1」「情報リテラシー2」「ビジネスとAI」「情報社会の倫理」「データサイエンス入門」の5科目を開講し、5科目すべてを合格した学生に対し修了証としてオープンバッジを発行するものである。初めに科目ごとの履修・修得状況について確認を行う。対象5科目のうち、「情報リテラシー1」と「情報リテラシー2」は全学科で1年次必修科目である。2025(令和7)年度の1年次生(計323名)の両科目の履修・修得状況を以下に示す。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption>情報リテラシー1</caption> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>184</td> <td>184</td> <td>100.00%</td> <td>169</td> <td>91.85%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>100.00%</td> <td>78</td> <td>91.76%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>322</td> <td>323</td> <td>99.69%</td> <td>296</td> <td>91.64%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption>情報リテラシー2</caption> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>184</td> <td>184</td> <td>100.00%</td> <td>160</td> <td>86.96%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>100.00%</td> <td>78</td> <td>91.76%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>321</td> <td>323</td> <td>99.38%</td> <td>286</td> <td>88.54%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、残り3科目は商学科と経営情報学科情報マネジメントコースでは必修科目であり、その他の学科・コースでは選択科目である。この3科目については、1年次だけではなく2年次・3年次に履修する学生も多い。このため、これら3科目については、1年次生から3年次生の計972名に対する2023年度から2025年度までの履修・修得状況を以下に示す。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption>ビジネスとAI</caption> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>376</td> <td>537</td> <td>70.02%</td> <td>275</td> <td>51.21%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>26</td> <td>170</td> <td>15.29%</td> <td>9</td> <td>5.29%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>577</td> <td>972</td> <td>59.36%</td> <td>409</td> <td>42.08%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption>データサイエンス入門</caption> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>477</td> <td>537</td> <td>88.83%</td> <td>428</td> <td>79.70%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>200</td> <td>265</td> <td>75.47%</td> <td>175</td> <td>66.04%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>770</td> <td>972</td> <td>79.22%</td> <td>691</td> <td>71.09%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption>情報社会の倫理</caption> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>466</td> <td>537</td> <td>86.78%</td> <td>431</td> <td>80.26%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>201</td> <td>265</td> <td>75.85%</td> <td>183</td> <td>69.06%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>702</td> <td>972</td> <td>72.22%</td> <td>643</td> <td>66.15%</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度、これら3科目の履修推奨を強く行ったこともあり、履修者数は昨年に比べ、3科目とも大幅に増加している。また修得率について比較してみると「ビジネスとAI」が42.08%(昨年度末:20.06%)、「情報社会の倫理」が66.15%(昨年度末:40.56%)、「データサイエンス入門」が71.09%(昨年度末:51.26%)となっており、順調に増加していることが分かる。こまごまは科目ごとに見てきたが、これらの5科目全体で構成されるデータサイエンス教育プログラムの修了者数についても確認する。今年度の修了者数は、商学科205名、観光マネジメント学科3名、経営情報学科41名の計249名であった。これにより、本プログラムの累計修了者数は2025年度末時点で324名となる。この他にも、まだ本プログラムを修了してはいないものの修了が近い学生(5科目中4科目もしくは3科目単位取得した学生)も多い。これらの学生は早期の修了が期待できるため、今後も引き続き、本プログラムの残りの科目を履修するよう強く働きかけを行う。</p>	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	184	184	100.00%	169	91.85%	経営情報学科	85	85	100.00%	78	91.76%	計	322	323	99.69%	296	91.64%	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	184	184	100.00%	160	86.96%	経営情報学科	85	85	100.00%	78	91.76%	計	321	323	99.38%	286	88.54%	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	376	537	70.02%	275	51.21%	経営情報学科	26	170	15.29%	9	5.29%	計	577	972	59.36%	409	42.08%	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	477	537	88.83%	428	79.70%	経営情報学科	200	265	75.47%	175	66.04%	計	770	972	79.22%	691	71.09%	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	466	537	86.78%	431	80.26%	経営情報学科	201	265	75.85%	183	69.06%	計	702	972	72.22%	643	66.15%
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																				
商学科	184	184	100.00%	169	91.85%																																																																																																																				
経営情報学科	85	85	100.00%	78	91.76%																																																																																																																				
計	322	323	99.69%	296	91.64%																																																																																																																				
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																				
商学科	184	184	100.00%	160	86.96%																																																																																																																				
経営情報学科	85	85	100.00%	78	91.76%																																																																																																																				
計	321	323	99.38%	286	88.54%																																																																																																																				
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																				
商学科	376	537	70.02%	275	51.21%																																																																																																																				
経営情報学科	26	170	15.29%	9	5.29%																																																																																																																				
計	577	972	59.36%	409	42.08%																																																																																																																				
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																				
商学科	477	537	88.83%	428	79.70%																																																																																																																				
経営情報学科	200	265	75.47%	175	66.04%																																																																																																																				
計	770	972	79.22%	691	71.09%																																																																																																																				
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																				
商学科	466	537	86.78%	431	80.26%																																																																																																																				
経営情報学科	201	265	75.85%	183	69.06%																																																																																																																				
計	702	972	72.22%	643	66.15%																																																																																																																				
プログラムの履修・修得状況	<p>横浜商科大学データサイエンス教育プログラムでは、全科目共通で実施している学期末の授業アンケートで学修成果を把握し、学生の成績評価と合わせて教育内容の妥当性について定量的に分析している。2025年度の授業アンケートでは、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で総合的にみて、この授業は満足できるものでしたか。5段階評価:5(大変満足)~1(大変不満)という設問に、「5」「4」「3」を回答した割合は92.0%(昨年度:96.4%)であった。また「5」と「4」を回答した割合は71.1%(昨年度:77.3%)であった。今年度から、商学科と経営情報学科情報マネジメントコースで本プログラム科目が必修化され履修者数が大幅に増加した影響で満足度はある程度下がることを想定していたが、概ね予想通りの結果であった。</p> <p>また授業アンケートにおいて、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で「この授業で身についた知識・能力を選択してください」という設問において、受講学生に11項目から複数選択してもらったところ、選択数が多い順に上位5項目は「専門的知識を問題解決に活用できる」「幅広い教養とモラルを身につけている」「論理的に思考することができる」「社会の課題を発見することができる」「商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている」であった。これらは本プログラムで掲げる学生が身に付けられる能力と一致した項目であり、本プログラムの学修成果が出ていることがわかる。また、これら5項目は順番は異なるものの昨年度と同じ5項目である。これにより、本プログラムで複数年度に渡り継続的に同じ知識と能力が身につけられていることが確認できる。</p>																																																																																																																								
学修成果	<p>学期末の授業アンケートでは、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で「【複数選択】この授業で身についた知識・能力を選択してください」という設問において、幅広い教養とモラルを身につけている35.9%、商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている28.3%、多様な価値を理解することができる26.3%、社会の課題を発見することができる28.6%、論理的に思考することができる30.3%、専門的知識を問題解決に活用できる39.5%、自分の考えを他者に伝えることができる8.5%、他者の考えを受け入れることができる8.2%、社会に貢献する意欲を持っている9.2%、主体的に行動する意欲を持っている8.2%、他者と協力する態度を持っている5.3%であった。今年度の特徴として、「専門的知識を問題解決に活用できる」と考えている学生が多いことが挙げられる。全般的には、学修成果の欄でも述べたが、本プログラムで掲げる学修目標に一致した項目の値が高く、必要な能力を一定程度身に付けられていると考えられる。</p> <p>また授業アンケートでは「説明が分かりやすく内容が理解しやすかった。授業資料もしっかりと内容が書かれていて良かった。」「課題の作成例などが分かりやすく、取り組みやすかったので良かった。」「課題の説明を毎時間分りやすくしてくださり理解が深まりました。」「授業に関するウェブサイトや、動画のリンクなどもあり、このおかげで予習、復習がしっかりでき、内容をとても理解できました。」「スライドがとても分かりやすくて良かった。」「Excelで課題をする際、毎回どのように操作するのかを教えながら取り組んでくれたのが良かった。」などの自由記述を得ている。1年次必修科目である「情報リテラシー1」「情報リテラシー2」では週1回の担当教員とSA・メンターによるミーティングを実施し、そこで出た意見を授業運営に随時反映し、理解度を高める工夫・改善を務めている。また、SA・メンターは学内の研修を受講することで適切な学習支援ができるようにしている。今後も引き続き、授業内容の改善を図るとともに、学生の理解度と社会的ニーズの双方を踏まえて、学生の理解度をより向上させるよう改善を図る必要がある。</p>																																																																																																																								
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>学期末の授業アンケートでは、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で「【複数選択】この授業で身についた知識・能力を選択してください」という設問において、幅広い教養とモラルを身につけている35.9%、商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている28.3%、多様な価値を理解することができる26.3%、社会の課題を発見することができる28.6%、論理的に思考することができる30.3%、専門的知識を問題解決に活用できる39.5%、自分の考えを他者に伝えることができる8.5%、他者の考えを受け入れることができる8.2%、社会に貢献する意欲を持っている9.2%、主体的に行動する意欲を持っている8.2%、他者と協力する態度を持っている5.3%であった。今年度の特徴として、「専門的知識を問題解決に活用できる」と考えている学生が多いことが挙げられる。全般的には、学修成果の欄でも述べたが、本プログラムで掲げる学修目標に一致した項目の値が高く、必要な能力を一定程度身に付けられていると考えられる。</p> <p>また授業アンケートでは「説明が分かりやすく内容が理解しやすかった。授業資料もしっかりと内容が書かれていて良かった。」「課題の作成例などが分かりやすく、取り組みやすかったので良かった。」「課題の説明を毎時間分りやすくしてくださり理解が深まりました。」「授業に関するウェブサイトや、動画のリンクなどもあり、このおかげで予習、復習がしっかりでき、内容をとても理解できました。」「スライドがとても分かりやすくて良かった。」「Excelで課題をする際、毎回どのように操作するのかを教えながら取り組んでくれたのが良かった。」などの自由記述を得ている。1年次必修科目である「情報リテラシー1」「情報リテラシー2」では週1回の担当教員とSA・メンターによるミーティングを実施し、そこで出た意見を授業運営に随時反映し、理解度を高める工夫・改善を務めている。また、SA・メンターは学内の研修を受講することで適切な学習支援ができるようにしている。今後も引き続き、授業内容の改善を図るとともに、学生の理解度と社会的ニーズの双方を踏まえて、学生の理解度をより向上させるよう改善を図る必要がある。</p>																																																																																																																								

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度</p> <p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>授業アンケートにおいて、後輩学生への推奨といった設問は設定していないが、本学では後輩への授業の推奨や学修支援を行う存在としてSA制度があげられる。本プログラムに含まれる「情報リテラシー1」「情報リテラシー2」には、各クラス1名のSAと数名のメンターを配置している。次年度についても、SA・メンターの志望者は20名いるため、後輩などへの本プログラムの推奨度は一定程度はあると考えられる。</p> <p>本プログラムの履修率の抜本的な向上のために、2025年度開始の新カリキュラムにおいて、商学科と経営情報学科情報マネジメントコースでは本プログラム対象5科目を必修科目にする変更が行われた。これにより、本プログラムの履修率及び修得率が大幅に増加している。以下で科目ごとに確認する。まず、「情報リテラシー1」「情報リテラシー2」は全学科で1年次必修科目であるため、最終的な単位修得率は100%を目指している。令和7(2025)年度の単位修得率はそれぞれ91.6%、88.5%であり、目標に近い値を達成することができた。「ビジネスとAI」は科目内容および必修化の導入により、商学科と経営情報学科の履修率が高くなっており、学部全体での履修率は59.36%(昨年度:32.69%)である。次に「情報社会の倫理」も同様に、商学科と経営情報学科の履修率が高くなっており、学部全体での履修率は72.22%(昨年度:46.66%)である。また「データサイエンス入門」は、全学科で履修者数が多く、学部全体での履修率は79.22%(昨年度:58.69%)となっている。履修率・習得率ともに昨年度に比べ大幅に増加しており、履修率向上に向けた計画も概ね達成できていると言える。</p>
<p>学外からの視点</p> <p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p> <p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>2023年から開始したため、まだプログラム修了で卒業した者はいない。また、企業等の評価についてであるが、本学の業務委託契約先である株式会社アールシーエーから、「本プログラムの教育を受け、SAを務める学生さん36名のうち1/3程度がプログラム修了者と聞き及んでいる。また、情報課の学生スタッフのうち、3年生以下は本プログラムを修めた者が多くと聞く。この資格が仕事をする上で有用であることが示されつつあると考えられるので引き続き学生さんには積極的に本プログラムを修めてほしい。」との評価をいただいている。</p> <p>産業界において実際に業務に使われる実データの提供はまだ受けていないが、実データは本プログラム教育において重要であるため、今後、企業の実データ分析を授業に取り入れる予定である。現在は、総務省のデータを用いた分析や、本学学内で蓄積されたタイピングスコアデータを用い、1年生全体、クラス全体、個人のタイピングスコアの年間推移の分析および論述を課している。これらのデータの処理の際には、必要に応じてGoogleのSaaSアプリ群とMicrosoft365のアプリ群を柔軟に使い分け、先述の株式会社アールシーエーより好意的な評価を得ており、引き続き多種のデータ処理ができる人材を育成していきたい。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>学期末の授業アンケートでは、「総合的にみて、この授業は満足できるものでしたか。5段階評価:5(大変満足)~1(大変不満)」という設問に、「5」「4」「3」を回答した割合は92.0%であった。また「5」と「4」を回答した割合は71.1%であり、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させることは、一定程度達成することができた。これは、前年度に引き続き、情報リテラシーの毎回の授業で実施するタイピングテストの1年次生全員の実データを活用する身近なテーマを設定したこと、自分で実施したアンケートをもとにした分析、実例をもとにした情報の適切な活用など、主体的に取り組みやすい授業設計を行ったことによるものと考えられる。また授業アンケートでは「課題」に対する説明の動画などもありとても分かりやすく、楽しかったです。「エクセルの実習」があり、教えてもらうだけではなく内容が入ってきた。解説もしっかりしていたし、いつ使われるかなども説明されていて学ぶ意義が分かりやすかった。「確認テストで毎回満点を取ることができてうれしかったです。とてもわかりやすい説明ありがとうございました。」授業後に先生が学生のために、自分のお時間を使ってまで、楽しい雑談や私の質問に真摯に答えてくださった」などの自由記述を得ている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>必修科目である「情報リテラシー1」「情報リテラシー2」では、1クラスのサイズを30名以下に設定し、クラスごとに1名のSAと数名のメンターをつけることで、学生が質問しやすい環境を構築している。また、全クラスで統一した授業資料を用い、必要に応じて担当教員間および担当SA間で情報共有することで、統一した内容・水準を維持することを心掛けている。加えて、週1回の担当教員とSA・メンターによるミーティングを実施し、そこで出た意見を授業運営に随時反映することで、より「分かりやすい」授業を実施した。また授業アンケートでは、「わからないことがない丁寧なスライドでわかりやすかった。」「SAさんと先生が難しいことを分かりやすく教えてくれた。」「SAのサポートがあって、ついていけない内容があっても丁寧に教えてもらえた。」「わからないことを質問した際に、先輩や先生が丁寧に受け答えしてくれてよかったです」「わからないことがあった時の説明が手厚く、わかりやすかった」「わからなかったらメールとかで教えてくれるのが助かる。」「この授業ではとても質問しやすいところが良かったです。」などの自由記述を得ている。</p>